

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 23 年 11 月 24 日 (2011.11.24)

【公表番号】特表 2007-537174 (P2007-537174A)

【公表日】平成 19 年 12 月 20 日 (2007.12.20)

【年通号数】公開・登録公報 2007-049

【出願番号】特願 2007-511963 (P2007-511963)

【国際特許分類】

C 0 7 C 51/41 (2006.01)

C 0 7 C 55/07 (2006.01)

C 0 7 C 51/44 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 51/41

C 0 7 C 55/07

C 0 7 C 51/44

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 23 年 10 月 3 日 (2011.10.3)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 1】

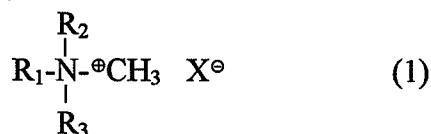
式 (2)

【化 1】



で表されるアミンをジメチルカルボネートと反応させ、そしてさらにその中間生成物をシュウ酸またはシュウ酸二水和物と反応させることにより、式 (1)

【化 2】



で表される第四級シュウ酸アンモニウムまたは第四級シュウ酸水素アンモニウムを製造する方法であって、

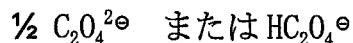
式中、

【化 3】



が、

【化 4】



であり、

R<sub>1</sub> が、8 ~ 22 個の炭素原子を有し、かつ飽和されているか、または 1、2 または 3 個の C = C 二重結合を含むことができる直鎖または分岐の脂肪族炭化水素ラジカルであり、R<sub>2</sub> が、CH<sub>3</sub>、C<sub>2</sub>H<sub>5</sub>、C<sub>3</sub>H<sub>7</sub>、C<sub>4</sub>H<sub>9</sub> または R<sub>1</sub> について定義された意味であ

り、そして

$R_3$  が、 $CH_3$ 、 $C_2H_5$ 、 $C_3H_7$ 、 $C_4H_9$  であり、

また、式(2)のアミンとジメチルカルボネートとの反応が、閉鎖系の反応容器中で調節された加圧下で行われ、そして単離されているかまたは単離されていない中間生成物とシュウ酸またはシュウ酸二水和物とのさらなる反応が溶剤中において実施される、

前記の製造方法。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項5】

シュウ酸またはシュウ酸二水和物が、水溶液として、式(2)のアミンとジメチルカルボネートとの反応から得られた単離されているかまたは単離されていない中間生成物中に、泡が形成しないように十分にゆっくりと連続的に添加される、請求項1～4のいずれか1つに記載の方法。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0036

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0036】

であり、

$R_1$  が、8～22個の炭素原子を有し、かつ飽和されているか、または1、2または3個の $C=C$ 二重結合を含むことができる直鎖または分岐の脂肪族炭化水素ラジカルであり、

$R_2$  が、 $CH_3$ 、 $C_2H_5$ 、 $C_3H_7$ 、 $C_4H_9$  または  $R_1$  について定義された意味であり、そして

$R_3$  が、 $H$ 、 $CH_3$ 、 $C_2H_5$ 、 $C_3H_7$ 、 $C_4H_9$  であり、

また、式(2)のアミンとジメチルカルボネートとの反応が、閉鎖系の反応容器中で調節された加圧下で行われ、そして単離されているかまたは単離されていない中間生成物とシュウ酸またはシュウ酸二水和物とのさらなる反応が溶剤中において実施される、

前記の製造方法を提供する。